

川づくり 清瀬の会

会 誌 第 44 号

2025 年 9 月 発行

発行・編集者 会誌編集委員会



活動写真

2025 年度上半期に実施した清瀬の環境・川まつり、
河川清掃、全国一斉水質調査

撮影：柳瀬ゴロー

目 次

空堀川や柳瀬川 覗いて見ましょう 魚やたくさんのトンボに出会える川 (河川の親水性)・・・宮澤とよ美	1
2025 きよせの環境・川まつり報告・・・・・・・・・・柳瀬ゴロー	6
柳瀬川・空堀川に棲む生物の紹介 ミナミメダカ・・・・・・・・・・荒幡 経夫	8
やなせ川・からぼり川カワセミものがたり・・・・・・・・柳瀬ゴロー	9
令和7年4月から9月までの活動報告・・・・・・・・荒幡 経夫	12
今後の主な行事予定・ご案内・事務局だより・・・・・・・・荒幡 経夫	19

空堀川や柳瀬川 覗いて見ましょう

魚やたくさんのトンボに出会える川 (河川の親水性)

宮澤 とよ美

今年は敗戦 80 年。戦で失った多数の御霊、戦後の経済優先・生活の利便性重視の政策で、救命が遅れた公害犠牲者の皆様へ、心から祈りの 8 月、平安の尊さを噛みしめる日々です。

私が田舎で生まれる前年、日中戦争が始まり、その翌年に第二次世界大戦が始まるなど、日本は大戦への道を走り始め、鉄の鍋・釜まで供出し、小学校入学時には、生活用品などほとんど手に入らず、ランドセルが村に配給されても、ほとんどの子供がくじ引きに当たらず、私は母手作りの毛布で作ったランドセル、履物は誰もが下駄、上履きは祖父が少しでもおしゃれにと赤い布切れを編み込んで作ってくれた藁草履です。そのうちに村には疎開者が多く、教室は隙間なく机が並べられ 50 人・60 人と詰め込められていたように思います。

子供の遊びは川でシジミ取り、春が来れば田んぼのタニシ、土にもぐるドジョウ取り、稲穂の頃は、イナゴ取り、一番おいしい赤ガエルは道に打ち付け気絶させ、前掛けのポケットに入れるのですが、夢中で遊んでいる間に生き返り逃げてしまいます。川の中は危険と遊びが禁止されても、皆川遊びで泳ぎも覚え、網などなくても 10~20cm のフナなどすぐマコモの根元で捕まえることができました。

村に沿って大きな川が流れ、どの家にも池や、水の湧く井戸端があり、最後は川につながります。何も遊び道具はなくても魚の住む川があれば、たくさんの思い出が残り、いつでも水辺の風景がよみがえります。

終戦間もなく、どこの地方でも田畑は区画整理が行われ、作業用トラックや農機具が通りやすく農道も拡幅されました。その時は、田に沿う堀も川もコンクリートの 3 面張り、農薬と化学肥料が矢継ぎ早に農村に入り、徐々に子供たちの親しむ環境や景観が消失し、ビニールのハウスが立ち並ぶ景色となりました。

家庭を持ち、深い緑と清流にひかれて清瀬に越してきたとき、周りの農家さんには井戸があり、洗濯や野菜を洗った後は、近くに大きな堀穴があり、汚水を地下に浸透させていました。どの農家さんにも立派な屋敷林があり、雑木林の合間には茶畑が続いていました。その景色も長続きせず、屋敷林は宅地に、狭い農道は広げられしばらくは砂利道でした。家の周りが舗装されたのは昭和 44~45 年頃でした。

空堀川・柳瀬川流域の宅地開発が進み、家庭や工場の汚水は益々流量が増え、清瀬市はわずかな雨でも洪水を起こしていました。洪水対策として、空堀川の拡幅用地が早くから確保され、これまでの川幅 5~7m 程の空堀川が、昭和 49 年頃から、「**川中：管理用通路を入れて 30m**」に改修。かなり蛇行してゆったりと流れていた空堀川もほぼ直線化したために、東村山市境から柳瀬川合流点までわずかな距離で標高差が 20m もあり、そのために清瀬分は略 100m に 1 つの落差工が施工されています。

【落差工とは；水の流れ下る勾配を安定させ、河床の洗掘を防ぐために、河川を横断して設けられる施設です。水の流れ下る力は大きく、何もしなければ河床の土はどんどん洗い流され、土砂は下流の平のところに止まって積もり、順調な流れを阻害します。また金山調節池などは、増水とともに泥も多量に越流、

【景観・生態系を脅かすことなどを防ぐ役割をします】

都市河川も田舎の川も時を同じくして汚れ、人を退け、高いフェンスに「近づくな 危険・小学校 PTA」の看板がぶら下がっていました。かなりの時をかけて下水道が張りめぐされ、すべての汚水が処理場に向かうと、平成 7 年頃にやっと川の水は澄みはじめました。春は、落差工の作る淵で、早朝お腹が少し気味悪い橙色したドジョウが一つのボールのように丸くなり浮き沈みをし、コイも大騒ぎをする繁殖期です。小魚の群れが日の光に銀色に光り、感動しました。その頃国は変わり果てた川をよみがえさせるために河川工学の先生方によって、多自然川づくりの手引書や講演会が行われていました。

当会の誰も気づかないうちに、柳瀬川清瀬橋から下流に向かって拡幅工事が始まり、左岸の自然の土手に見事に続いていた河畔林が伐採された時は、その緑のトンネルを好む散策者の喪失感は大きかったと思います。

その頃は市民の環境に対する意識の高まりに伴い、人々の身近な自然の生態系保全から地球環境問題に至るまで、行き過ぎた自然破壊を阻止しようと、環境保護団体がすでに活動を始めました。

拡幅された柳瀬川は高水敷を持つ複断面。低水護岸は巨石の空積み、河川管理者に何うと、その当時は「護岸に巨石の空積みが河川環境・景観に優れています」とのご説明で、すでに多自然川づくりを実践されたのでしょうか。確かに崩れることも少なく、積石の間から思いがけない樹木が芽生え、その緑が単調で用水路のような感じの川を、見事にカバーして人々の憩える川になっています。

そして平成 9 年、人々が物質的なものから精神的な豊かさに価値観が変化しつつある時代を背景に、河川についても、治水、利水の役割だけでなく、貴重な水と緑の空間として人々にうるおいを与え、様々な生物の多様な生息・生育環境を形成するものとしてその役割が大きく見直され、河川法の目的へ「**河川環境の整備・保全・創出**」が位置付けられました。（条文の一部です）

●生物の生息・生育・繁殖環境の保全と整備（魚が登りやすい川づくり） 多自然川づくり
自然再生事業（生き物の創出）

●魅力ある水辺空間 の整備と保全 地域と一体となった空間整備（かわ・まちづくり） 河川の空間利用に関する計画（河川環境管理基本計画）

●河川利用・生活環境に配慮した・水量・水質の改善

●地域市民との連携・協働 市民連携の推進

河川法改正からすでに 28 年。昭和 40 年代の空堀川改修から、柳瀬川の拡幅工事や補修工事が休む間もなく続けられています。

平成に入ってもしばらく都のワースト 1,2,3 の汚名の空堀川、やっと雑排水の流入が止まり、今度こそ清流の空堀川だ!! と期待すも、雨水だけが頼りの空堀川は、温暖化を抑制するどころか、渇水期には干上がってしまい、石が焼けてヒートアイランドの河川となります。「空堀川に水量確保」。市議会に請願をし、幾たびか本庁に向かいました。**秋ヶ瀬**取水堰から 1 日

1万トン、東村山浄水所までは是非にと必死の思い。上水課は、生活用水を「1滴たりとも環境用水には致しません」の一言。同行頂いた北々建の係長さんと、そして都の河川部の方々と、ない解決策を話し合って引き下がります。それから空堀川の下流から始まった、流水を地下浸透させない粘土張り、成功して生き物を上流までつなげたらどんなに良いでしょう。

河川法改正を受けて北多摩北部建設事務所（北々建）第二課は、いち早く空堀川・柳瀬川にかかわる四市（武蔵村山市・東大和市・東村山市・清瀬市）の流域連絡会を立ち上げ、河川法に新しく加わった環境の部門について話し合い、河川工事に反映させていただけるものと思いましたが、流連の規約はそうではありませんでした。

北々建では工事の都度市民団体に図面の説明をしてくださいます。要望があればその場で修正をお願いするのですが、実際にイメージできなければとても難しい。いつもお願いすることは、上下にウォータープールを、護床工を敷く時には沈めて覆土をとお願いしています。

新柳瀬川の車や橋下の落差工は全断面1:10の階段状、当時九州大学院教授でいらした島谷幸宏教授が、設計図を送ってくださり、流れの中央に滯筋を通し、木枠の中に石を強いワイヤーで結んだものを上下に6列埋め込み覆土、全長70mで完成されていたと思います。両側には、イグサなど水草が生え下流に柳など低木もはえ穏やかに流れています。

平成28年、（新合流点上流一つ目の落差工）、北々建会議室で空堀川最下流の説明を受ける。



自然度のある新柳瀬川の落差工



合流点すぐ上流の落差工

直壁型で、横にハーフコーン型の魚道をつけた図面をだされました。流水の少ない川には不向きです。一同賛同はできません。その他にも兩岸の護岸及び高水敷がコンクリートで固められた設計、何とか高水敷に覆土をとのお願いと、落差工を新柳瀬川と同様、1:10の全断面の階段式にと願ひ、家に帰れずにおりました。やっと 19 時過ぎて「落差工は設計変更をしましょう、高水敷の覆土は構造上無理です」とのこと、落差工だけでも叶えていただき感謝をして真っ暗な庁舎をあとにしました。

下流から 3 基目の落差工は、魚が上下しやすいように魚道の役割もする、多自然川づくりに配慮をしたステッププール型の落差工が提案されました。残念なことにステッププール型の最初の落差工。折角上下にウォータープールをとっていただきましたが流れは両側と中央 3 筋にとってしまっています。魚道ということを配慮をして検証をしながら上流に向かい 1 基 1 基施工することを希望しました。ですが河床勾配のきついところは河床の洗堀防止のために沈めることなく大きなブロックが敷かれています。どう見ても水面が見えないことは残念、川の良さを半減しています。



1 基目のステッププール型落差工



流水があれば中央に集めて流れます



河床の洗堀防止に敷かれたブロック

ある日の流域連絡会で、河川の親水性について話し合う機会がありました。親水性とは、誰もが好きに川を楽しむこと、釣りでも、泳ぐことでも、無限にあると思いますが、まずその川がやさしく美しくなければならぬと思います。今の空堀川は危険で高水敷を歩くことは冒険です。このブロックに少しでも覆土をしていただけましたらどうでしょう。



8月末、北々建設担当の河西氏と中村氏お二人、今年度工事個所の確認のための視察にいらっしゃいました。いつも河川管理者の方に「高水敷のブロックに覆土をしてください」とお願いをしているものですから、「高水敷と一緒に歩いてみましょう」とお声をかけて頂きました。都の方と歩くのは初めてです。「高水敷を歩けるように考えなくては・・・」お二人の独り言が聞こえたような気がいたしました。



右の3枚の写真は高水敷に敷かれたブロックですが、歩きにくく、穴あきブロックのところは草刈が1年を通してできません。そんなところは、下の写真のように増水時にごみのたまり場となり残念です。



しかし、穴あきブロックに覆土することにより、歩きやすく、又草本が生え、覆土を安定させる働きがあります。



今年度の工事は、令和6年度完成した池袋線鉄橋より少し上流から前原橋手前までです。この工事は勿論治水工事ですが、川の親水性を求めて、水と緑の調和がとれた美しい川づくりとの両立を心から願っています。

2025 きよせの環境・川まつり報告

柳瀬ゴロー

7月26日土曜日、柳瀬川・台田運動公園（清瀬市下宿）で「きよせの環境・川まつり」が開催されました。猛暑の中、清瀬市内外から33の団体、企業などが出展し、子どもたちを中心に賑やかに開催されました。

川づくり・清瀬の会は会場設営後柳瀬川へ入り魚捕り。モクズガニ他、ナマズやシマドジョウなどを捕獲し、水槽で展示しました。また、9時からの「自然観察会」は川づくり・清瀬の会がサポート。20人の子どもたちに網の使い方をアドバイスしました。子どもたちが捕った魚や水生生物は水槽などで展示されました。水槽の魚に子どもたちも大人たちも興味深々でした。



公務多忙の中澁谷桂司清瀬市長も駆けつけ、開会セレモニーで挨拶。「きよせの環境・川まつり」開催の意義について力強くお話しされました。今回初めて北海道・音威子府村立音威子府小中学校が出展し、遠藤貴幸村長、高橋利玄教育長も駆けつけられました。出展団体を代表し、明治薬科大学越前宏敏学長も挨拶され、清瀬市との連携などお話しされました。

清瀬市立清瀬第二中学校生徒会の皆さんもお祭りを楽しみながら、ヨーヨー風船で出店。

きよせの環境・川まつりの目玉は今年も「ウォーターバルーン」でした。大勢の子どもたちが夢中でした。ウォーターバルーンの運行については、山村実行委員会副会長、有限会社丸松産業の皆様、学生ボランティアの皆様がお支えになりました。

今回、子どもたちも付き添いの大人たちにも、川に入る方々にライフジャケットの着用を義務付けました。ライフジャケット貸出しでは、千田ニ仁江清瀬第七小学校副校長先生、市

議会議員の皆様、清瀬の自然を守る会森谷さん、学生ボランティア他、多数の皆様にお世話になりました。

事故なく、無事に開催できたことは喜ばしく、きよせの環境・川まつり実行委員会柿添会長他役員一同ほっとした様子でした。年々グレードアップされる「きよせの環境・川まつり」、これからもご期待ください。

いろいろな場面でお支えくださった清瀬消防署の皆様に感謝申し上げます。

「きよせの環境・川まつり」

主催:きよせの環境・川まつり実行委員会 後援:清瀬市

〔参加団体〕

〇〇演劇広場 〇〇東多摩再資源化事業協同組合 〇〇清瀬市清掃事業協同組合 〇〇きよせ川柳会 〇〇多摩六都科学館 〇〇株式会社大林組 〇〇東京都政策企画局 〇〇オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」 〇〇明治薬科大学 〇〇清瀬消防署 〇〇株式会社スギ薬局 〇〇清瀬ごみともだち 〇〇川づくり・清瀬の会 〇〇AKINAI-VEGE ナカツネ 〇〇生活協同組合パルシステム東京東村山センターおよびシャボンの会 〇〇清瀬環境市民協議会

〇〇清瀬市環境課 〇〇清瀬第二中学校生徒会 〇〇音威子府村立音威子府小中学校 〇〇株式会社アフロ&きよセラボ 〇〇veg Farm BEET IT 〇〇株式会社カワベ 〇〇株式会社アズテック 〇〇生活協同組合コープみらい 〇〇多摩きた生活クラブ生協まち・きよせ 〇〇市民の健康を守る会 (SKM) 〇〇放射能から子どもを守る会・清瀬 〇〇特定非営利活動法人ウイズアイ 〇〇おこしやすさくら 〇〇日本社会事業大学準硬式野球部 〇〇トキの水辺づくり保存会 〇〇清瀬の自然を守る会 〇〇明治安田生命保険相互会社所沢支社清瀬営業所

〔協力〕

〇〇清瀬市防災防犯課 〇〇和進 〇〇有限会社丸松産業 〇〇グローブライト株式会社 〇〇NPO 法人きよセラボ 〇〇清瀬市立清明小学校学校支援本部 〇〇清瀬市立清瀬第三小学校 〇〇清瀬市立清瀬第七小学校 〇〇清瀬市立清明小学校 〇〇清瀬市立清瀬第二中学校 〇〇スタンプラリー製作委員会 他多数

柳瀬川・空堀川に棲む生物の紹介

荒幡 経夫

ミナミメダカ



メダカ目メダカ科に分類され、メダカは東北地方以南から沖縄までに棲息しています。近年遺伝子解析によりミナミメダカとキタメダカに分けられ、柳瀬川水系にはミナミメダカが棲息しています。

産卵は春から秋の間に数回行われ、水草などに産み付けられた卵は10日程でふ化し、3か月ほどで3cmの成魚になります。

雑食性で、微小生物・プランクトン・藻類などを食べています。

寿命は自然界で1~2年くらいですが、上手に飼えばもっと長生きするようです。

キンギョと同様に飼いやすく、観賞魚として古くから飼育され、たくさん品種改良されてきました。体色がだいたい色のヒメダカも改良種です。

清瀬でも昔はたくさんいたそうですが、田んぼが無くなってから生息場所が少なくなり、今では環境省のレッドリストに載り絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

童謡で歌われているように群れで生活していますが、流れの速い柳瀬川ではあまり見られません。大雨の時に貯水池としての役割を持った金山調節池では、「つーいついつーいついと元気にあそんでるめだかの学校」を見る事ができます。

よく似た種類に外来種のカダヤシとグッピーがありますが、ミナミメダカは、尾鰭の端がまっすぐな事と、しり鰭が四角い形をしている事、そして背鰭が尾鰭に近い後方にある事などで見分けることができます。

カダヤシはカの駆除役として北米・中南米から、グッピーは観賞魚として南米から移入されました。

やなせ川・からぼり川カワセミものがたり

写真・文 やなせゴロー

ボクはやなせ川にすむカワセミのチー坊だよ。「チー」って鳴くからボクの写真をとりにくるおじさんが「チー坊」って名前を付けてくれたんだよ。

ボクのとくちょうは背中の中がとってもきれいだって言われていて「けいこくの宝石」とも呼ばれているんだよ。ほら、キラキラしてるでしょ？みんな「ひすい」って宝石知っているかな？青いキラキラした宝石なのだけど、カワセミを漢字で表すと「翡翠」(ひすい)という文字になるのだけど、なぜかはわかっていないんだ。でも、「空飛ぶ宝石」なんてすてきでしょ。

こんなきれいな姿だから、ボクの写真をとる人がたくさんいてね。今はボクを守ってくれる人



がたくさんいるから、写真をとられるのはいやではないよ。ときどき、しつこく追いかけてきて写真をとろうとする人いるけど、逃げちゃうから平気だよ。

おとうさんに聞いたのだけど、むかしは悪い人がボクらのきれいな写真をとるために、フラッ

シュを使ったり、すごくそれがいやだったんだって。ぼくらすごくデリケートなので、いやな写真のとり方だけはしないでね。

ボクたちが卵から産まれて死ぬまで2～3年と言われているんだ。ボクは今2才。今お嫁さんと子育て中で、もうすぐかわいい赤ちゃんが卵から、かえる予定なのだけど、この卵や赤ちゃんをねらうヘビやキツネ、同じ鳥仲間のモズがいるから、ゆだんできないんだ。だから、ぼくらの家は絶対に教えられないんだよ。もし、みんながぼくらの家を見つけても、だれにも言わないでね。約束だよ。

ぼくらの好きな食べ物は、小さな魚たちとアメリカザリガニかな。う～ん、どれもおいしいのだけど、やはり魚が好きだな。オイカワやカワムツがよくとれるからね。ボクがすむ、やなせ川とからぼり川には魚が多いからすみやすいよ。でも、からぼり川は時々水が無くなる時期があつてね。やなせ川の下流から上流に上がるお魚さんたちが道を間違えてしまい、水の無いからぼり川へ行ってしまうこともあるんだ。アユさんとかよく道を間違えてしまい、みんなが学校の行き帰りでわたる「みさと橋」のあたり、運よく水たまりがあればそこにひなんできるけど、運が悪いと干上がってしまい死んでしまうお魚さんたちもいるんだよ。

今から50年くらい前のやなせ川とからぼり川は、すごくよごれた川だったんだってさ。みんなのおうちから出る汚れた水が川へ流れ込んでいて、せんざいの泡も浮かぶ、とても魚がすむ川じゃなかったって、だれか言っていたよ。でも、国のえらい人や、清瀬にすむ人たちががんばって魚がたくさんすむことができるきれいな川に戻したんだってさ。ぼくらの先祖は皇居生まれだってだれか言っていたな。昔から皇居のお堀にぼくらの先祖がすんでいて、理由はわか

らないのだけど、ある1羽が、皇居から川を伝ってやなせ川を上り、すみついたんだそうだよ。

その1羽がぼくのご先祖さまなのだけど、東京や埼玉の川はどこもぼくらがすみやすい環境になったので、東久留米市の黒目川や落合川、東村山市の野火止用水にもぼくらの仲間がいるから、ぜひ会いに行ってね。

ぼくらがすみやすいということは、人間もすみやすい環境ってことなんだよ。だから、みんなにお願い。川にゴミはぜったい捨てないでね。もし、川の中にゴミが浮かんでいたとしても、川は急に水かさが増えたり、川底がすべったり、穴が開いている場所もあり、あぶないから、ぜったいに1人で拾いに行かないで、おとなの人と行ってね。川ぞいの道にも、ゴミが落ちていることあるけど、時々こわいゴミもあるので、おとなの人と相談して拾うようにしてね。

みんな、これからもぼくらカワセミと仲良くしてね。



おしまい。

※「やなせ川・からぼり川カワセミものがたり」は、柳瀬ゴローが清瀬第四小学校4年生に向けて読み聞かせをするために書き下ろしました

◆令和7年4月から9月までの活動記録◆

【令和7年4月の活動事項】

11日：幹事会：田島・宮澤・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

12日：新河岸川流域川づくり連絡会総会に参加：荒幡・宮澤

2024年度の活動報告・収支決算、2025年度の活動計画・収支予算、役員の改選について説明があり、全て承認される。

19日：川づくり・清瀬の会総会：田島・戸塚・宮澤・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

会員は、藤岡さん・菅原さん・星野輝子さん・西山さん・清水さん・高橋さん・渡辺さんが出席。滞りなく終了する。

24日：きよせの環境・川まつり実行委員会出席：柳瀬

会場レイアウト、スタンプラリー、スケジュールについて議論する。

27日：交流会に参加：宮澤・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

野川流域連絡会・新河岸川流域連絡会交流会を実施する。午前中は、金山調節池・緑地公園を見学し、上流新合流点・清瀬橋親水公園・植栽地（河畔林）・バーク工工事後を見学する。午後は、アミュー会議室で柳瀬川・空堀川の上下流の現状を説明し、午前中見学した場所を含めて議論した。



金山調節池を見学



清瀬橋親水公園を見学



せせらぎ川の見学

【5月の活動事項】

7日：河川敷草刈り作業下見：新井・荒幡

新合流点から上流大沼田橋までの区間で、保存を希望する植物を指定する。

11・18・20日に会員宮澤さんが、植生調査とマーキングを実施する。

9日：幹事会：田島・戸塚・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

11 日：植栽地管理：田島・宮澤・柏崎・新井・荒幡

壊れた扉の車輪を交換する。落ち枝拾い、草刈りを実施する。オオゴマダラチョウ・ミスジチョウなど多数のチョウチョウを確認する。

会員参加者は、中村吉成さんご家族・高橋さん・古谷さん。



上手な鎌さばき



車輪の取り付け



整備された植栽地

25 日：市内一斉清掃参加：柏崎・宮澤・新井・柳瀬・星野・城野・荒幡

柳瀬川・台田運動公園から上流金山橋までの清掃を実施する。BBQ をやっている人達にゴミ持ち帰りのチラシを配る。一般からの参加者は 1 家族 3 名、会員からは、中村さんご家族・中村和輝さん・古谷さん・渋谷さん・高梨さん・西山さん。市役所から 3 名が参加。回収したゴミの総量は 280L でした。



ペットボトル 20L (7%)



缶類 10L (3, 5%)



ビニール類 80L (28, 5%)



トレイ類 40L (14, 5%)



工事ゴミ 50L (18%)



その他 80L (28, 5%)

【6 月の活動事項】

5 日：幹事会：田島・宮澤・柏崎・新井・柳瀬・星野・荒幡

8 日 : 全国一斉水質調査に参加：田島・宮澤・柏崎・新井・荒幡

柳瀬川・空堀川の 12 カ所を 3 班に分け水質調査・環境調査を実施する。

調査後は、せせらぎ管理棟に集合し、調査結果をまとめ軽食を取りながら雑談する。

A 班：前原橋・梅坂橋（石田橋）・新合流点・清瀬橋

柏崎・宮澤・小西美香・原・目黒・永島・大草。

B 班：金山橋・金山調節池・日向橋・新柳瀬橋

斎藤・菅原・藤岡・中村吉成さんの奥さん・荒幡。

C 班：城前橋・清柳橋・水処理再生センター前・水処理再生センター下流

田島・新井・丸松 1 名・城野・柳瀬。

別班：星野輝子



A 班



B 班



C 班

18 日 : 清瀬第四小学校川体験実施：田島・柏崎・新井・船木・荒幡

会員の参加者は、中村吉成さん。

四年生の総合学習の一環として、空堀川での環境学習に協力する。

30℃を超える猛暑だったので川での体験は、ゴミ拾いを中止し生物採集を 1 時間くらいにして、後は理科室で採集した生物の紹介と、パワーポイントを使って川とゴミについてお話した。

採集した生物：カワムツの稚魚多数・ドジョウ・シマドジョウ・ナマズ・スジエビ・カワリヌマエビの仲間・ハグロトンボのヤゴ・アメリカザリガニ・アメンボ



川に到着



生物採集スタート



理科室でのお話

19 日：環境・川まつり実行委員会出席：柳瀬

駅からのバスの運行は無くなる。観察会は 9:00～10:00 の間に 10 名ずつ 2 回実施する。受付・ライフジャケットの貸し出し・川でのオペレーションは川づくり・清瀬の会が担当する。

29 日：空堀川清掃：田島・宮澤・柏崎・新井・柳瀬・星野玲子・荒幡

前原橋一部と新合流点から清瀬橋下流までのゴミ清掃を実施する。新合流点に生えている樹木の剪定も実施する。

参加者は、会員が菅原さん・星野輝子さん・古谷さん・大室さん親子・熊谷さん・吉田さん、一般からは二家族と個人一名で合計 5 名でした。

大きなゴミは自転車が一台と工事用の保護マットがあった。衣類（80L）のゴミが多かった。ゴミ総量は約 500L だった。



ペットボトル 90L（18%）



缶類 30L（6%）



ビニール類 70L（14%）



トレイ類 30L（6%）



工事ゴミ 100L（20%）



衣類・その他 180L（36%）

【7月の活動事項】

3 日：幹事会：田島・戸塚・柏崎・柳瀬・荒幡

7 日：JCOM 取材打ち合わせ：荒幡

市長との 29 日取材の予定地、清瀬橋から上流三郷橋までを下見し、打ち合わせを実施する。

25 日：柳瀬川河川清掃：田島・宮澤・柏崎・荒幡

会員の参加者：中村吉成さんご家族・中村和輝さん。環境・川まつり実行委員会のメンバー6名。河床の安全確認と、清掃・川の中に生えている木の剪定を実施する。上流で工事した護床ブロックが最近の大水で崩壊し、下流に大量の堆積物が陸を作り、川相がかなり変わっていた。



変わった川相



回収した工事ゴミ



ペットボトルなどのゴミ

26 日： きよせの環境・川まつり参加：田島・宮澤・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

会員の参加者：大室さん・中村吉成さんご家族・中村和輝さん・城野さん。
展示水槽・触れる水槽とパネルを展示し、川に棲む魚・水生生物の紹介や、川のゴミ問題と環境について解説する。9:00～10:00 まで 20 名の子供たちにガサガサ体験を実施する。採集した生物：カワムツ・モツゴ・ドジョウ・シマドジョウ・ナマズ・ウキゴリ・ヌマチチブ・モクズガニ・アメリカザリガニ・スジエビ・カワリヌマエビの仲間・アメンボウ・コヤマトンボのヤゴ・ハグロトンボのヤゴ・ヒゲナガカワトビケラ・シロタニガワカゲロウ・



ガサガサ体験講習



展示ブース



魚に触れる体験水槽

29 日： JCOM 取材協力：荒幡

市長と川を清瀬橋から三郷橋まで歩き、会の活動を中心に・川のゴミ問題・生息する生物について・河畔林の役割など川の環境について解説する。

【8月の活動事項】

7 日： 幹事会：田島・戸塚・宮澤・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

23 日： 夏休みボランティア体験：田島・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

参加者：子供 31 名・大人 1 名・保護者 15 名。会員の参加者：中村吉成さんご家族・中村和輝さん。ボランティア・市民活動センター社員 3 名。

センター主催の夏の体験ボランティアに協力、中里地域市民センター前の柳瀬川で、ゴミ拾い・生物採集を実施し、採集した生物の解説をする。

採集した生物：ナマズ・カワムツ（稚魚多）・ドジョウ・ヨシノボリの仲間・カワリヌマエビ・スジエビ（稚エビ多）・アメリカザリガニ・ヤゴ（ウスバキトンボ・シオカラトンボ）・アメンボ・ミズムシ・シマイシビル（多）・トビケラの仲間。



生物の紹介



回収した工事ゴミ



生物採集

26 日：清明小学校打ち合わせ：柳瀬・荒幡

9/18 日に実施するガサガサ体験の打ち合わせを実施する。参加者：担当の先生 2 名、コーディネーター 1 名。4 年生 2 クラス 40 名の環境学習に協力、生物採集のアシストと生物の解説をする予定。

【9 月の活動事項】

4 日：幹事会：戸塚・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

7 日：空堀川清掃：田島・宮澤・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

参加者：会員は菅原さん・中村吉成さんご家族 4 名・古谷さん・熊谷さん・星野玲子さん、一般からは新井さん・松枝さん・佐々木さん・河野さんご家族 3 名。梅原橋を起点に上流前原橋から下流新合流点までの河川清掃を実施する。一部の除伐・除草を実施。ゴミ総量は約 830L、他に自転車・梯子・脚立などの投棄があった。



ペットボトル 250L（30%）



缶類 40L（5%）



ビニール類 90L（10%）



トレイ類 120L (15%)



工事ゴミ 40L (5%)



衣類・布団・その他 290L (35%)

18 日 : 清明小学校川体験実施 : 田島・宮澤・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

清明小学校 4 年生の総合学習に協力、柳瀬川で生物採集を指導しながら生物や環境の解説をする予定。参加者：担当の先生 2 名、コーディネーター 1 名。4 年生 2 クラス 40 名。

25 日 : 会誌 9 月号の製本・配布作業 : 田島・戸塚・宮澤・柏崎・新井・柳瀬・荒幡

会誌の製本作業を 13:00～活動センターで実施し、会誌の配布は、当日又は後日各担当者が実施する予定。

※18 日・25 日の作業は、会誌印刷後なので予定作業として入れました。

◆今後の主な行事予定◆

- ・ 10 月 5 日（日）：植栽地管理（三郷橋そば） 9:00 集合
- ・ 10 月 21 日（火）：金山緑地公園池の外来種駆除（金山緑地公園） 9:00 集合
- ・ 11 月 2 日（日）：市内一斉清掃・柳瀬川河川清掃（台田運動公園） 9:00 集合
- ・ 11 月 23 日（日）：空堀川河川清掃（梅坂橋広場） 9:00 集合
- ・ 12 月 7 日（日）：植栽地管理（三郷橋そば） 9:00 集合

◆ご案内◆

川づくり・清瀬の会活動の様子、予定など、公式 Facebook ページや公式 X(Twitter)でお知らせをしております。ぜひご覧ください。お持ちのスマホをカメラにさせていただき、かざせば読み込みます。パソコンお使いの場合は「川づくり・清瀬の会 Facebook」「川づくり・清瀬の会公式 Twitter」で検索してください。

活動予定につきましては、コミュニティ FM 放送局 TOKYO854 くるめラ (85.4MHz) 『ゆったり清瀬』（毎週月曜日 12:00-12:55 再放送毎週火曜日 06:00-06:55）でも告知しております。



公式 Facebook ページ QR コード



公式 X(Twitter) QR コード

◆事務局だより◆

昨年、梅坂橋上下流に造られたバープ工は、竣工当初から上流 2 基が河床に埋没してしまい、まともに機能しているのは、下流にある 2 基だけです。予定通り周囲には堆積と深みが形成されています。生物が住み着いた様子は伺えませんが、しばらく時間がかかるようです。

昨年度工事として、西武線鉄橋付近で工事していますが、5 月末で完成する予定が、2 度延期され、7 月に入ってやっと終わったようです。魚が遡上する 3 月・4 月の大切な時期に工事で出た泥水が毎日のように流れていて、産卵や棲息に大きな影響が出ていたようです。

今年の 11 月から前原橋付近の工事が始まります。5 月までに工事を終わらせるように、話し合いをしていますが、なかなか生物の事を考えた工事工程を組んでくれない事が残念です。根気強く要請していかなければと考えています。

これからも手洗い・状況によるマスクの仕様、消毒などの感染予防を実施しながら、活動を進めていきます。会員の皆様のご支援と、ご協力をよろしくお願いいたします。